



濱通りの製産激減

氣遣れる木炭飢饉

前月より七萬三千俵を減少
昨年同期より一萬八千俵

縣木炭検査所に於ける去る六月の木炭検査高は石城五萬一千二百八十八俵、双葉三萬四千九百五十四俵計八萬六千七百七十三俵で前年同期に比し一萬七千七百七十五俵の減産であるが前月に較ぶれば兩郡共に製炭を半減し其のため五月

荒川平市議の受難

観音像と佛画其他

時價千二百圓を横領さる

平市立町現市會議員荒川淺次郎氏は先代からの蔵り物である観音像（時價八百圓）、佛畫（時價二百圓）華山筆山水掛物（時價二百圓）計一千二百圓相當のものを市内彌宜町鐵山森買替屋藤原一（四）が他に賣却してくるといふに託し荒川市議と共に上京佐藤の奔走に委せてゐたところ佐藤は東京市内のブローカー等と結

植田町役場改築

石城郡植田町役場の廳舎は腐朽狹隘を告げ改築を唱ひられてゐたが一萬九千圓で改築を決定し附近の土木駐在所に移轉執務の一方土盛工事に着手したが新廳舎は建坪百五坪二階建の木造で今年十一月末日までに落成の豫定である

護國の華

赤井村出身勇士

◆鎌倉伊之吉上等兵、石城郡赤井村の日波一九出身は安慶攻略戦で森田部隊下に奮戦壯烈な戦死を遂げた同君は父艶三氏母たね（三）の次男で村の模範青年であつた、兄も應召兩角部隊に加はり中支戦線に目下活躍

戦地から焼香

警備出身の勇士

石城郡警備隊の田代出身吉田義男特務兵は戦地に活躍の程から同村長宛に郷里からの出征で名譽の戦死を遂げた戦前に舊盆の焼香に充て、欲しいと金十圓を送り越され遺族の

村葬 故齊藤伍長の武勳の祭

左側腹の貫通銃創

交戦中に三時間、御令息長次殿には交戦の真最中八時三十分頃、左側腹部に貫通銃創を受け火砲と連発を共にして名譽の戦死を遂げられた。第三分隊は分隊長以下完全なるもの僅かに〇名、後は全部死傷した。〇〇兵として最も華やかな力戦奮闘でありまして敵の遺棄死体約三〇名（内將校二名）にて御令息の功績もまた偉大なるものであります。遺骸は翌日夜露野地に火葬に附したる後残れる戦友と共に開封の西方まで西進しました。現役時代は第〇中隊にありて伍長勤務上等兵として衆の模範となり一度應召せらるゝや現役

故買者の送局

半島人古物商

平市警火葬場の隠亡が死体から金貨を窃取した事件は昨報所報の如くであるが同贓品を情を知つて買つてゐた市内北白銀町三八森本漢三郎半島人孫振漢（三）及び同正月町四吉川次郎半島人李吉河（三）外一名は贓物故買で今二十七日平検事局に送致された

成績良好

小麥指導地

縣小麥改善實地指導地石城郡大浦村細谷農事實行組合の栽培一町三反四畝歩は優秀な成績を上げて今二十七日午後一時から組合長西山藤助氏方に總會を協賛及び打合せの後吉成郡駐在農林技手から同耕作に就て講演あつたが細谷農事組合は四十三名の組合員で各種農事にも良成績を上げてゐる尚ほ石城郡下の小麥指導地は植田町の佐藤、澤渡村

中支視察旅行記

駒木根忠三氏より

要するに全圖から行つた慰問と云ふことで到るところ出征兵士から手紙を頼まれたり品物を届けて貰ひたいと云ふ聲が慰問の目的は十分に果し百パーセントの効果をあげて参りました。尚ほ内地からの慰問品としては現在食料品は十分あるから何と云ふても一番喜ばれるのは肉筆の慰問文でありま

青果市況

瓜(百本)	二〇〇〇	安他
胡(百本)	一〇〇〇	〇〇〇〇
長茄子(百本)	一〇〇〇	〇〇〇〇
丸茄子(百本)	一〇〇〇	〇〇〇〇
牛蒡(百本)	一〇〇〇	〇〇〇〇
葱(百本)	一〇〇〇	〇〇〇〇
なす(百本)	一〇〇〇	〇〇〇〇
馬鈴薯(百本)	一〇〇〇	〇〇〇〇
玉葱(百本)	一〇〇〇	〇〇〇〇
茶(百本)	一〇〇〇	〇〇〇〇

雄魂院(故亀太郎)儀新盆に相當り候

處誠に勝手がましく候へども時局柄提灯其他供物等一切御贈與の儀固く御辭退申上度候。右不惡御諒承願上候。 敬具 昭和三十二年舊七月 平市一丁目 菅本庄治

法宥院儀新盆に候處時局柄提灯そ

の他佛前の供物一切の御贈與を固く御辭退申上度候。右不惡御諒承願上候。 敬具 昭和三十二年舊七月 平市月見町 根本品藏

殉忠院(故亀太郎)儀新盆に候處時局柄提灯そ

の他佛前の供物御贈與の儀固く御遠慮申上候。右不惡御諒承願上候。 敬具 昭和三十二年舊七月 平市町 金成ヨシ

謙光院(養嗣子義七)儀新盆に候處時局柄提灯そ

の他佛前の供物の御贈與を御遠慮致度固く御辭退申上候。右不惡御諒承願上候。 敬具 昭和三十二年舊七月 平市大町 半谷政喜

支那を見て來て戦争を始めた本人がどしどし移住しなければならぬ、日本の人々を増さなければいけないと思ひます。日本軍が撤退しても支那を日本軍が撤退して支那へ行かぬ決心をして貰はなければならぬ、親日支那を新しく建設するにはこれが一番重要なことであると思ひます。上海、蘇州、南京はすべて見た感じが日本の軍隊の防備が大變整ふて居る様に思ひました、其の他の土地にもどしどし日本の軍隊で埋めたいと思ひます。

第四 決算公告

昭和十三年六月三十日

資産(借方)	金額
現金預け勘定	一、五七四、八〇〇
銀行預け金	三、三三三、三三三
郵便貯金	一、一七三、三三三
有價証券勘定	三、七三三、三三三
株式	一、一〇三、三三三
貸付金勘定	一、一〇三、三三三
不動産擔保貸付	三、三三三、三三三
不動産限貸付	一、一〇三、三三三
給付金限貸付	一、一〇三、三三三
未收無盡掛金	一、一〇三、三三三
假掛金	一、一〇三、三三三
不働産	一、一〇三、三三三
營利用土地建物什器	一、一〇三、三三三
株主勘定	一、一〇三、三三三
拂込未済資本金	一、一〇三、三三三
合計	九、六六六、六六六
負債(貸方)	金額
未拂無盡掛付金	六、六六六、六六六
未拂入札差金	一、一〇三、三三三
未拂解約返戻金	一、一〇三、三三三
無盡掛付資金	一、一〇三、三三三
假掛金	一、一〇三、三三三
日掛假受金	一、一〇三、三三三
集金員勘定	一、一〇三、三三三
期限未経過掛金	一、一〇三、三三三
加入申込證據金	一、一〇三、三三三
社員保證積立金	一、一〇三、三三三
株主勘定	一、一〇三、三三三
資本金	一、一〇三、三三三
法定準備金	一、一〇三、三三三
特別準備金	一、一〇三、三三三
建築積立金	一、一〇三、三三三
社員退職給與基金	一、一〇三、三三三
當期利益金	一、一〇三、三三三
(内前期繰越金)	一、一〇三、三三三
(社員退職給與基金戻入)	一、一〇三、三三三
合計	九、六六六、六六六
當期利益金	一、一〇三、三三三
(内)	一、一〇三、三三三
法定準備金	一、一〇三、三三三
特別準備金	一、一〇三、三三三
社員退職給與基金	一、一〇三、三三三
役員賞與金	一、一〇三、三三三
配當金(年四分ノ割)	一、一〇三、三三三
後期繰越金	一、一〇三、三三三
(前期繰越金)	一、一〇三、三三三
給付金契約金	一、一〇三、三三三
平市六町二十番地	七、六六六、六六六

磐城無盡株式會社

専務取締役會長 小宅壽久治
 常務取締役 野内 彌富
 同 森 波 渡邊 豊田 豊治
 同 役 有賀幸太郎
 (監査役任期満了につき二名再選す)

藤沼醫院

平市紺屋町 電五〇七



幸福の父
 健康の母たらんには
 召し給へ！
 機那サフラン酒は
 子寶を得て易し。

定價 一圓二角五分

新澤仁太郎藥房 山田町

平市五丁目角

山野邊藥局

病室増築、手術室完備
産科 醫學博士
婦人科 五十嵐雄二
 平市新川町「電話三六九番」

レストラン
サロン
 喫茶、茶、酒場を兼ねた。
 町田平 二五三電

安田系統の帝國海上
帝國海上火災保險株式會社
 平代理店 關内正
 平町二丁目 電話一六番
 事務取扱者 阿部助次郎

醫學博士 江尻伊三郎
 平市田町 電話六九一番

専門 皮膚泌尿科
 診療時間 午前八時より午後九時まで

院醫尻江

御婦人用 御子様用
陳列 簡單衣 豊富
ツルヤ 平電一四〇

内科、小兒科、外科、花柳病科、耳鼻咽喉科、レントゲン科
 平市田町 電話五一三番
高久病院
 院長 醫學士 高久忠

モーター 變壓器 販賣、修理
佐藤鐵工會社
 社會資合 所工鉄藤佐
 町見月市平 (番二六三話電)

金銀赤口 價之低 質之良
高岡屋
 良品廉價 藥膏の中心は

「看護見習募集」
明雲堂眼科醫院 (電話 六六九)
 平田町(三丁目裏川岸通)
 入院應需(自炊の便あり)

平市搔搔小路
整形科醫院
 電話五八八番